

－ はじめに －

近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりをさらに強く推進していく必要があります。

平成25年6月に閣議決定された第2期教育振興基本計画においても、今後5年間に進める基本施策の考え方として、「全ての学校区において、学校と地域が連携・協働する体制が構築されることを目指し、社会全体で学校や子どもたちの活動を支援する取組や地域とともにある学校づくりを推進する」とされています。

こうした方向性を踏まえ、滋賀県でも学校、家庭、地域が連携し、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指し、「学校支援地域本部」、「放課後子ども教室」、「家庭教育支援」の三つの事業を一つの枠組みとして有機的に組み合わせながら、それぞれの事業の拡大および活性化に取り組んでまいりました。また、今年度からは、いじめ対策においても家庭や地域の力が重要であるという観点から、「いじめ対応型の学校支援地域本部事業」にも新たに取り組んでおります。

事業開始から3年を経過し、県内各地において、学校、家庭、地域が一体となって連携協力し、地域ぐるみで子どもを支える体制が徐々に整ってきているものと承知しております。これも、支援活動に積極的に取り組んでいただいております、各市町での工夫や努力によるところが大きく、本事例報告書は、そういった各市町の取組を報告させていただくものです。

それぞれに特色のある事例を報告いただいております。是非、御高覧いただきまして、既にこれらの事業を推進していただいている市町においては、新たな視点ももちながら事業のさらなる充実に取り組んでいただければと思います。また、学校・家庭・地域の連携体制の構築が十分にできていない市町におかれましては、本事例報告書も参考の上、学校・家庭・地域の連携体制の構築に努めていただければ幸いです。

最後になりましたが、本事業を含め、「社会全体で子どもの育ちを支える環境づくり」に、平素より実際に子どもたちと関わっていただき、地域において献身的なお取組をいただきました関係者の皆様に心より感謝申しあげますとともに、引き続き御支援をお願い申しあげます。

また、本事例集の編集に際し、貴重な情報の提供や原稿をお寄せいただきました関係者の皆様に心より感謝申しあげます。

平成26年（2014年）3月

滋賀県教育委員会事務局
生涯学習課長 北野 允